

WORK EMOTION T5R 2P

EDGE CUSTOMS CHALLENGER S-LINE

愛車をカスタマイズする際に、もっとも頭を悩ませるのはやはりホイールマッチング。とくにオーバーフェンダーを装着した場合、その可能性は無限大にまで広がるが、それに対するラグジの一つの回答がコレだ。

PHOTO ★浅井岳男 TEXT ★空野稜



株式会社ワーク

所在地★〒577-0016 大阪府東大阪市長田西 4-1-13
TEL ★ 06-6746-2859 (西日本コールセンター)
TEL ★ 052-777-4512 (中日本コールセンター)
TEL ★ 048-688-7555 (東日本コールセンター)
URL ★ <https://www.work-wheels.co.jp>

PRODUCED BY

LUXZ

ラグジ

所在地★〒500-8228 岐阜県岐阜市長森本町 2-1-4
TEL ★ 058-259-3922 URL ★ <https://luxz.jp>



強度を確保しつつ、可能な限り細い5スポークデザインを採用。放熱性に優れ、ハードな走りにもしっかりと応えてくれる。リム部分は敢えてステップタイプとすることで大径さを強調せず、むしろ剛性を追求することで安全性を確保。またホイールの裏側は見えない部分だが、三角形の突起を設けることで大径ホイールでありながら強度を持たせている。今回装着したマットカーボン是非常に落ち難いティーストと言えらるがキャンディブルーはB5とアステリズムレッドはプラムクレイジーと組み合わせれば、走りを追求しつつもドレッシーなスタイルが実現できる。

★装着ホイール: WORK EMOTION T5R 2P

★装着ホイールカラー: マットカーボン

★マッチングサイズ (F): 20×10J 5H-115 (R): 20×12J 5H-115

★マッチングタイヤ: NITTO INVO (F:285/30ZR20 R:345/25ZR20)



キャンディブルー

アステリズムレッド

チャレンジャーをカスタムする場合、避けては通れない「マッスルカーらしさ」という諷い文句。当然のことながら、ラグジュアリーなスタイルよりもスポーティなカスタムの方が断然似合うと言えるだろう。とくに、日本のチャレンジャーカスタムを牽引するラグジでは様々なエアロ&ボディキットをリリースしているが、今回はラグジのラインナップの中でも比較的シンプルと言えるSラインに、WORK EMOTION T5R 2Pを組み合わせてみた。

T5R 2Pのポイントは、何と言っても極限まで贅肉を削ぎ落としたアスリートのような筋肉質なデザイン形状。強靱さを兼ね備えつつ、極限まで細く仕上げられたスポーク。さらにその奥に見える巨大なブレーキユニットはただいたずらにリムを大径化するのではなく、クルマの本能と言うべき走りを探求した姿だと言える。その良さを活かしつつ様々なカスタマイズに対応でき、

Feel the synchronism.



躍動感を感じるスタイルと
インセットの自由度を両立



さらにディープコンケイブなども堪能できるのが、この2ピース構造を採用したT5R 2Pだ。

今回は、単体で見ると控えめだがブラックのボディと組み合わせることでさりげなく足もとの存在感を強調するマットカーボンをチョイス。ほかにも標準色は4色、鮮やかなカラリズムは6色、カラリズムクリアは3色、アステリズムは2色をラインナップしており、合計15タイプものカラーバリエーションを誇るため、ブラックやホワイトだけでなく、ハイインパクトカラーのチャレンジャーにマッチすること間違いなし!

ボディカラーに合わせるも良いし、敢えて違うカラーを組み合わせることでリムを強調するのもアリ。まさにチャレンジャーのためのボトムスだと断言しよう。



カスタムオーダープランのゴールド×ブロンズリムの組み合わせで製作した Gran Seeker DMX。ボディと異なる色を組み合わせることで、車両全体の中でホイールを1番目立たせることに成功。一番外側のスポークに敢えて角度をつけることで、疾走感や躍動感を与えることが可能だ。また、ディスク外周部と中央部で異なるデザインを採用することで、独創的なスタイルを確立する。ピアスボルトはゴールドとの相性の良さからブラックをチョイスするが、ほかにもシルバー/チタン/ゴールドを選択可能。もちろんディスクやリムのカラーも自由に選択できるので、フルカスタムメイドが可能だ。

- ★装着ホイール: Gran Seeker DMX
- ★装着ホイールカラー: カスタムオーダープラン/ゴールドディスク&ブロンズアルマイトリム
- ★マッチングサイズ (F): 20×10J 5H-115 (R): 20×12J 5H-115
- ★マッチングタイヤ: NITTO NT555 G2 (F:275/35ZR20 R:315/35ZR20)

Gran Seeker DMX

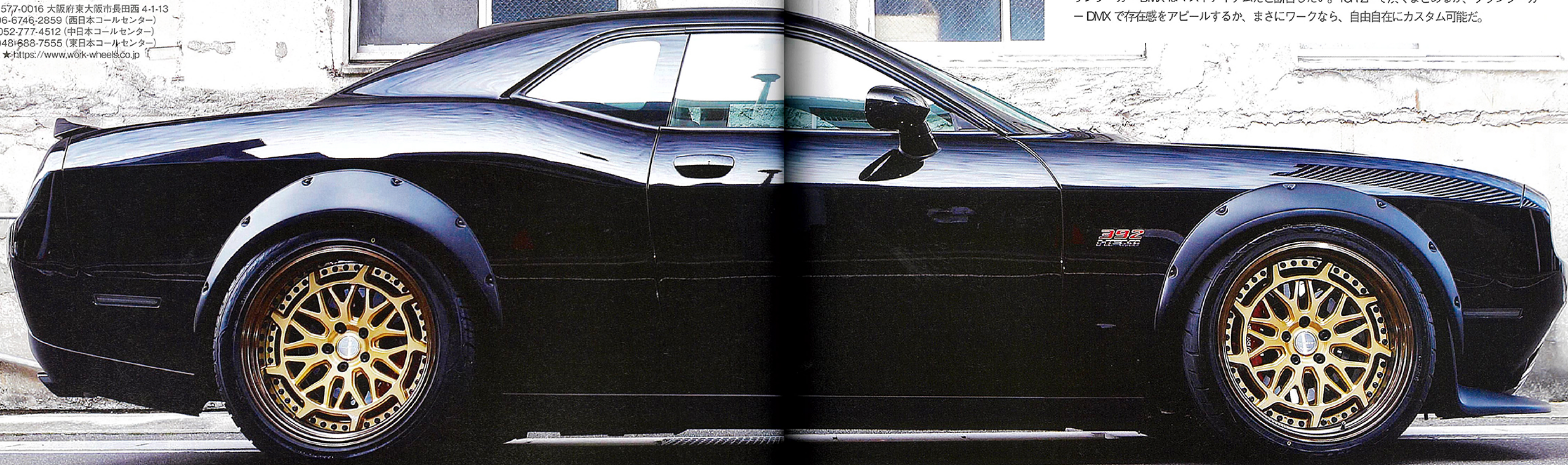
EDGE CUSTOMS CHALLENGER S-LINE

1ピースや2ピースホイールは、シンプルでエレガントな雰囲気を醸し出す。だが、もう少し力強さや逞しさを強調したい人もいるだろう。そんなユーザーに提案したいのが、3ピース構造の Gran Seeker DMX だ。

PHOTO ★浅井岳男 TEXT ★空野稜



所在地 ★〒577-0016 大阪府東大阪市長田西 4-1-13
 TEL ★ 06-6746-2859 (西日本コールセンター)
 TEL ★ 052-777-4512 (中日本コールセンター)
 TEL ★ 048-688-7555 (東日本コールセンター)
 URL ★ <https://www.work-wheels.co.jp>



ピアスボルトの存在が
マツシブ感をさらに強調する

Grand Neo-stalqic

前ページで紹介したチャレンジャーと同じく、ラグジのSラインを装着したチャレンジャー。フェンダー部分を取ってマットブラックにペイントしており、スポーティさよりワイルドさを強調したスタイル。そのスタイリングに合わせてボトムスにチョイスしたのは、どこなくクラシカルな雰囲気が漂い、スタンス系のカスタムユーザーにとっては御用達と言える、グランシーカーDMXだ。

グランシーカーDMXは3ピース構造を採用しており、ホイールの表面にあしらわれるピアスボルトが、Sラインのフェンダーデザインと絶妙にマッチ。先ほどのT5R 2Pは車両とのトータルコーディネート提案しているのに対し、このグランシーカーDMXは、デザインもさることながらその特徴的なカラーも相まって、否応なしにその存在が目飛び込んでくるほど強烈なイ



ンパクトと存在感を醸し出している。アグレッシブさを感じさせるマットブラックのフェンダーと相性も良く、マッスルカーでありながらどこなくラジックな雰囲気を漂わせているのも特徴的。ラグジのチャレンジャーとはまた違ったスタイルを提案している。

前述しているとおり3ピース構造なので、インセット&リムの深さは自由自在。まさにカスタム道を極める者のためのアイテムと言っても、決して過言ではない。ディスクだけでなく、リムやピアスボルトも好みの色が選択可能。まさに、自分の愛車のために一切妥協することなく望むとりの仕様を作り上げることが可能。オンリーワンのチャレンジャーを目指したいのなら、グランシーカーDMXはマストアイテムだと断言したい。T5R 2Pで済くまとめるか、グランシーカーDMXで存在感をアピールするか、まさにワークなら、自由自在にカスタム可能だ。